

南相馬市へ毛糸の贈り物をしました!

昨年に引き続き、視覚障がいのある方から、ご自身で編まれた手編みのニット帽子を東北に届けたいという相談がありました。また、地域の方から毛糸のご寄付もいただき、毛糸の帽子と一緒に福島県南相馬市の仮設住宅に住む方々へ届けさせていただきました。

これからの寒い時期に向けて、毛糸のあたたかい贈り物にとっても喜んでいただきました。

その後、手編みの帽子を受け取った方から帽子の編み方を教えてほしいという相談があり、帽子の寄付をされた視覚障がいのある方と連絡をとられています。

『はい、ポーズ♪』

東北より、素敵な笑顔のお返しをいただきました。



ボランティアサロン和会

中区ボランティアセンターに登録されている個人ボランティアの集いとして、毎月第2火曜日に和会は開催しています。

どんなことをするのかはボランティアの皆さんで話し合い決めていきます。おしゃべりもあれば真剣な話もあり! テーマを決めての取り組みや日頃の活動についての話などさまざま。

1月2月3月と、まだまだ寒い時期が続きますが・・・ボランティアサロン「和会」は元気よく開催します\(^▽^)/



※掲載記事に関するご質問や各講座などへの参加申し込みは下記の宛先までお問い合わせ下さい。

【申し込み・問い合わせ先】

社会福祉法人 広島市中区社会福祉協議会/中区ボランティアセンター
〒730-0051 中区大手町4-1-1 大手町平和ビル 5階
TEL 249-3114 FAX 242-1956 Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp

中区ボランティアだより

社会福祉法人 広島市中区社会福祉協議会 中区ボランティアセンター
〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階
TEL (082)249-3114 FAX (082)242-1956
Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp
ホームページ http://shakyo-hiroshima.jp/naka/



2012年
12月号

公開講座を
開催しました!

『知的障がいってなあに』

～知的障がい疑似体験と家族のお話から考える～

11月17日(土)に『知的障がいってなあに』公開講座を開催しました!

講師には、手をつなぐ育成会「ひろしまあび隊」の皆さん、手をつなぐ育成会中区支部のお母さん方を講師にお招きし、19名の参加者と共に「知的障がいってなんだろう?」と問いを巡らせながら、それぞれに素敵な気付き・学びを得ることができました。

知的障がい疑似体験では、『あび』という言葉だけで会話をするあび王国の女王様が登場!相手に気持ちを伝えることの難しさ、もどかしさを体験することで、相手に寄り添うことの大切さを学ぶことができました。

お母さん方の話では、ご自身の体験をもとに、「1日の出来事を紙に書きだし見直しをつけれるようにする」など、知的障がいのある方との関わりでの工夫について、教えていただきました。

講座の参加者から、多くの感想や意見が聞かれ、皆さんの障がいに対する関心の高さが伺えました。

多くの方のご参加、ありがとうございました♪

【参加者の感想】

- ・障がいとは、社会の理解が増え、制度やバリアフリーが増えることで障がいではなくなる、といった言葉に気づかされ、とても参考になりました。
- ・障がいとは、暮らしにくい・生きにくいと感ずること。
- ・今日参加して、あたたかい気持ちになりました。



▲知的障がい疑似体験の一幕



第16回なかくボランティアまつり



平成24年10月27日(土) 10:00~14:30にて、「第16回なかくボランティアまつり」を開催しました！会場である中区地域福祉センターに総勢521名もの方にお越しいただき、盛況のうち無事に終わることができました。今年も多くの方からバザー物品の提供をいただきました。ご協力いただき、感謝申し上げます。また、前日準備や当日と、参加いただいた方、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。なかくボランティアまつりも今年で16回目！！まつりのほんの一部ですが、ご紹介したいと思います♪



ステージ発表



なかくボランティアまつりの見所の一つであるステージ発表は、中区で活動されている方を中心に構成されています。今年のステージも、白島碓太鼓あり手品ありお琴の演奏あり作業所メンバーの歌や踊りありと盛りだくさん。中でも、ボランティアグループの「音訳グループ虹」と「手話サークルあすなろ」とがコラボした手話朗読劇は初の試みながら、見る人・聞く人を引き込む素敵な発表となりました。



手話朗読劇
「でもすきだよ、おばあちゃん」



ステージ発表のラストは、中途視覚障害者オーロラの会と参加者によるフォークダンス♪会場全体が一つにまとまることができ、笑顔の中で最後のステージ発表を締めくくっていただきました。



みんな大好きなかちゃん！
『僕も参加したよ♪』



この他にも、1階では作業所による展示販売、共同募金、遊びのコーナー。5階ではバザー物品の販売、作業所の体験コーナー、広島県看護協会による健康づくりコーナーが開かれました。



福祉体験コーナー☆

福祉体験コーナーでは、「点訳」「手話」「音訳」「要約筆記」「アイマスク」「高齢者疑似」「車いす」と、7つもの体験が用意されました。まつりを訪れた方たちにとって、福祉に触れることのできる、良い機会になったことと思います。

述べ122名の方が体験した福祉体験コーナー。小学生から大人まで幅広い年齢の方が興味を持って楽しみながら体験している姿がとても印象的です。このような場を通じて、より多くの方に福祉の世界を知っていただけたらと思います。

今回は広島市視覚障害者情報センターのご協力により、視覚障がい者用日常生活用具の展示を行いました。

普段触れることのない福祉の便利グッズの数々が並び、多くの方が足を止めて見学されていました。



なかくボランティアまつりでは、「なかくボランティアまつり実行委員会」を中心に、ボランティア連絡会、作業所のメンバー・職員、地域の方など100名以上の方に運営などのご協力をいただいております。